

## 令和2年度 第4回教育委員会定例会

### 日時、場所及び出席者

日時及び場所	出席者	
令和2年7月16日(木)	教育長 坂元 裕人	教育総務課長 鹿屋 勉
午後2時00分	教育委員 田原 正人	学校教育課長 今井 誠
↓		
午後4時00分	教育委員 葛迫 幸平	社会教育課長 紺屋 昭男
第2研修室	教育委員 田之上 厚美	国体推進課長 米田 昭嗣
	教育委員 福里 由加	

### 会議要旨

#### 1 開会

定刻、定足数に達しており、令和2年度第4回教育委員会定例会を開会した。  
議案第11号は、非公開審議とする旨、教育長から発議があり全会一致で議決された。

#### 2 令和2年度第3回定例会会議録の承認

承認

#### 3 議事

報告第22号 垂水市青少年育成センター協議会委員の委嘱について

報告第23号 垂水市青少年育成指導委員の委嘱について

報告第24号 垂水市社会教育委員の委嘱について

報告第25号 令和2年6月9日付け及び7月1日付け教育委員会職員人事異動について

議案第11号 令和2年度垂水市奨学資金奨学生の決定について

#### 4 その他

垂水市教育委員会の事務の点検及び評価について

5 委員並びに教育長及び課長報告

6 閉会

議 決 事 項

件 名	提案理由	審議の状況	採決の次第
<p>報告第22号 垂水市青少年育成センター協議会委員の委嘱について</p>	<p>垂水市青少年育成センター協議会委員の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告するものである。 (任期2年)</p>	<p>特記事項なし</p>	
<p>報告第23号 垂水市青少年育成指導委員の委嘱について</p>	<p>垂水市青少年育成指導委員の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告するものである。 (任期2年)</p>	<p>特記事項なし</p>	
<p>報告第24号 垂水市社会教育委員の委嘱について</p>	<p>垂水市社会教育委員の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告するものである。 (任期2年)</p>	<p>特記事項なし</p>	
<p>報告第25号 令和2年6月9日付け及び7月1日付け教育委員会職員人事異動について</p>	<p>令和2年6月9日付け及び7月1日付け教育委員会職員人事異動の内容について報告するものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	
<p>議案第11号 令和2年度垂水市奨学資金奨学生の決定について</p>	<p>奨学生選考委員会の答申を受けて奨学生の決定をしようとするものである。</p>		<p>承 認</p>

## 議 事 内 容 等

3 議 事	
社会教育課長	<p><b>報告第 22 号</b>  <b>垂水市青少年育成センター協議会委員の委嘱について</b>          垂水市青少年育成センター協議会委員の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したことを報告するとともに、その内容を説明。          (質疑なし)</p>
社会教育課長	<p><b>報告第 23 号</b>  <b>垂水市青少年育成指導委員の委嘱について</b>          垂水市青少年育成指導委員の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したことを報告するとともに、その内容を説明。</p>
田原委員	<p>指導委員は、現在委員をしている方々が後任を見つけて推薦するという形になっており、各地区で適任者がいないためにずっと続けていただいている方がいる。子どもたちのことをよく知っている人たちのほうがいいので、学校に依頼してPTAの中から推薦していただくという形がいいのではないかと思う。</p>
社会教育課長	<p>委員は地区ごとに配置しており、地区公民館を通じて振興会長に依頼しているところである。垂水校区は、現在1名の欠員状態である。</p>
教育長	<p>目途は立っているのか。</p>
社会教育課長	<p>まだである。働きかけていきたい。</p>
社会教育課長	<p><b>報告第 24 号</b>  <b>垂水市社会教育委員の任命について</b>          垂水市社会教育委員の任命について、教育長の臨時代理により決定したことを報告するとともに、その内容について説明。</p>
教育長	<p>当委員の会合は年何回開催されるのか。また、どういうことに寄与されているのか。</p>
社会教育課長	<p>年3回ほど開催されている。社会教育行政を進めていくうえで意見をもらい、活性化を図っていくもので社会教育行政の最高機関という位置づけである。</p>
葛迫委員	<p>社会教育に貢献された方の表彰なども、社会教育委員の会合で協議されるのか。</p>
社会教育課長	<p>そのとおりである。表彰は、公民館活動や文化振興への貢献などが対象となる。</p>

教育総務課長	<p><b>報告第 25 号</b> 令和 2 年 6 月 9 日付け及び 7 月 1 日付け教育委員会職員人事異動について</p> <p>人事異動の内容を説明。 (質疑なし)</p> <p><b>議案第 11 号</b> 令和 2 年度垂水市奨学資金奨学生の決定について (非公開)</p>
4 その他	<p><b>垂水市教育委員会の事務の点検及び評価について</b></p>
教育総務課長	<p>垂水市教育委員会外部評価委員会に提出する垂水市教育委員会の点検及び評価に関する資料、教育総務課に係る垂水市教育行政重点施策の自己点検・評価票について説明。</p>
学校教育課長	<p>学校教育課に係る垂水市教育行政重点施策の自己点検・評価票について説明。</p>
社会教育課長	<p>社会教育課に係る垂水市教育行政重点施策の自己点検・評価票について説明。</p>
国体推進課長	<p>国体推進課に係る垂水市教育行政重点施策の自己点検・評価票について説明。</p>
田原委員	<p>16 ページの教育委員の評価票の「市長・副市長・議会等との情報交換等」のところで、昨年度は教育基本計画の見直しのため総合会議が開催され、教育委員会だけでなく、市全体の視点で見ていくという観点で協議できて非常に良かった。</p> <p>県や地区の会合や研修会等は、年度末にはコロナ禍でなかなか参加できなかったが、年度全体を見るといろいろな機会をとらえて参加できたと思う。</p>
葛迫委員	<p>17 ページの教育総務課の評価票の中で、教育委員会に 13 名の傍聴者があるが。</p>
教育総務課長	<p>移動教育委員会の際、地域の方々の参加があったものである。</p>
葛迫委員	<p>18 ページの学校教育課の評価の中で、「夢の翼」は、香港情勢の悪化で中止となったが、香港の情勢は本年度も厳しいのではないか。また、新型コロナウイルスの影響でいろいろな行事が中止になっている。子どもたちがかわいそうである。</p>
田原委員	<p>今は仕方がないとしても、すべてが素晴らしい取り組みである。ぜひ、</p>

	続けてもらいたい。
福里委員	学校給食の食物アレルギー対策について、我が子が卵と牛乳のアレルギーがあり手続きで苦労した経験があるが、給食の対応には感謝している。
学校教育課長	安全・安心な給食提供の一環として、アレルギー対策には万全を期しているところである。
田原委員	19ページの社会教育課の評価の中で、「地域学校協働活動」があるが、私の地域でも小学校からの要請でいろいろと実施しているところであるが、子どもたちにミシンを覚えてもらいたいとのお願いについては、地域内ではなかなか見つからず、苦労した。 公民館同士で連絡を取りあい、校区を超えての協力をお願いするというのも可能か。
教育長	人材バンクのようなものを作ったの対応も考えられる。
社会教育課長	考えてみたい。
葛迫委員	21ページの国体推進課の評価について、鹿児島国体の状況はどうか。
国体推進課長	(国体延期に関する直近の状況を説明。)
葛迫委員	垂水高校に女子の綱引部があると聞いたが。
国体推進課長	3月から練習を始める予定としていたが、コロナ禍の影響で1回も実施できなかった。鹿児島国体の延期により今後の活動をどうするか検討しているところである。
葛迫委員	垂水高校の活性化のためにも、解散ではなく続ける方向で考えていただきたい。
5 委員並びに教育長及び課長報告	委員並びに教育長及び課長報告
教育長	委員並びに教育長及び課長報告に入る。
田原委員	「7月7日(火) 学校訪問(境小学校・牛根小学校)について」 境小学校 廊下や教室の設営に工夫がなされ、随所に生徒の作品や活動が見えるものとなっていた。中でも「ありがとうの花束」は境小独自の取組みで、道徳教育と結びついた思いやりの心や、自己肯定力を高めるための先生方の意図的活動であることを素晴らしいと思った。

授業では、少人数の中で先生や児童同士のコミュニケーションが見える授業で、児童がよく考える授業がなされていた。

また、先生方の板書が構造的でとてもきれいで、思考の段階がよくわかる板書であった。めあてもしっかり立てられており、まとめまで終結し、定着の時間まで確保されていたのが素晴らしいと思った。

#### 牛根小学校

校長先生の経営方針が明確で、職員一人一人にしっかり浸透していると思われた。教頭先生以下、先生方の良さを理解し、引き出しておられるのだろう。このことは子どもたちにも言えることで、一人一人が積極的に授業に取り組み、児童がよく発言する。先生の発問にどんどん意見が出る。自分の考えを發表しようとする姿は、かねてから授業以外の場でも訓練されているのだろうと思う。

中学校に行っても通用する子どもを育てたいという願いを掲げておられたが、学力・体力・精神面ともに着実に、目に見える形で成長しているように思われた。

葛迫委員

#### 「6月29日(月)水之上小学校学校訪問(大隅教育事務所との合同訪問)について」

特別支援学級(ひまわり学級)で、難聴児童の今後のことが不安に思われた。先生も一生懸命頑張っているらしい。

学校訪問資料の特別支援教育推進委員会の年間計画の実施に、今後の支援が必要な児童に対する学校側の配慮が見られた。難聴児童の自立を大事に考えるということに今後も力を入れてもらいたい。

#### 「7月7日(火)学校訪問について」

##### 午前：境小学校

児童数7名の小規模校において新しく赴任された八木澤校長先生以下、子どもたちの学力向上や生徒指導、そして、地域社会とのかかわりに毎日を忙しく厳しい大変な教育活動から子どもたちに指導されていることが今回の学校訪問で確認できた。

子どもたちの将来像に、この境小学校で学んでよかったと言える多くの子どもたちが育ってくれるように願っている。

##### 午後：牛根小学校

児童数11名の小規模校。1・2年生クラスの音楽の授業、3・4年生クラスの理科の授業、5・6年生クラスの社会授業、どのクラスも複式学級だが、直接指導の参観で、1・2年生、3・4年生、5・6年生が同じ授業を受ける姿を始めてみた。

子どもたちが間接授業を経験したり、直接授業を経験したり、授業に抑揚があり、子どもたちは緊張したりリラックスしたりと学校生活を楽しくしているように感じた。

学校のキャッチフレーズになっている「元気いっぱい牛根小、いきいき登校、笑顔で下校」、まさしくそのものだった。

田之上委員

### 「学校給食について」

学校訪問で学校給食をいただいた。

水之上小学校ではカレーライス、境小学校ではイワシの照り焼き丼で、スープ、フルーツ、牛乳が付いていた。

垂水産の材料でこんなにおいしい料理を子どもたちはいつも食べていると思うと、いじめや問題行動は起きないのではと思うほどであった。

人間にはいろいろな欲があり、その欲が生きていくうちにいい方向に行くこともあるが時には邪魔をすることがある。子どもたちは学校で食の欲をこんなに満喫できる。お腹一杯おいしいものを食べることができている。

素直で、元気で誰にでも優しく接することができる垂水の子もたちが育っていつてくれると思うことだった。

おいしかった。ありがとうございました。

### 「学校訪問したこと」

水之上小学校・境小学校・牛根小学校ともに、すっきりと整理整頓され、静かな雰囲気の中で学校活動が行われているようだった。

3校とも、手洗い場が特にきれいにされていた。コロナ禍の今、しっかりと手を洗うことが子どもたちにとって大事なことなので、手洗いに行きたくなるような環境がしっかりと整備されていると感じた。

教育事務所との合同訪問であった水之上小学校では、教育事務所の方々のいろいろな視点からの指摘がとても勉強になった。

### 「学校評議委員会に参加したこと—垂水小学校」

休校やさまざまな制約のある中でも、子どもたちは元気に学校生活を送っているようだ。先生方は、感染対策や心の健康、学習の遅れなどへの対応に大変だろうと思うことであった。

本年は、プール改修工事をしていただき、きれいなプールで水泳学習する子どもたちの様子を見るのができて良かった。

### 「垂水中央中学校通学バスに添乗したこと」

6月、学校応援団の活動で、今年度初めての朝の通学バスに乗った。

牛根方面のバスだったが、生徒たちはマスクを着用し、離れて座る、なるべく会話をしないなど、自覚のある行動であった。

### 「応援ブックについて」

新型コロナウイルス支援事業として、垂水市から贈られた本を受け取った小・中学生たちは、とても喜んでいて。自分が選んだ本には「私の本、僕の本」という思いがあり、もらったことがとても嬉しかったようだ。応援ブック事業はいい取り組みだと思う。

子どもたちの中には、どの本にするかとても迷った子もいたようで、選んだ本のほかにも読みたい本がたくさんあったのでリストにあった本を学校の図書館に備えてもらえないかという声もあった。

	<p><b>「コロナ感染対応について」</b>  保健室やトイレの椅子が感染率が高いとの報道があった。  学校で子どもたちの様子を見てみると、子どもたちはトイレの後の手洗いが雑で、現場での指導の徹底をお願いしたい。  子どもたちの感染口は家庭、保護者と思う。これから夏休みに入るので、家族の人たちにも意識をもってもらいたい。</p> <p><b>「学校訪問について 水之上小学校・境小学校・牛根小学校」</b>  水之上小学校、境小学校、牛根小学校の学校訪問に参加させていただいた。どの学校も子どもたちのためにいろいろ工夫されたり頑張っていることがよく分かり、頭の下がる思いだった。  学力の向上はもちろんのこと、子どもたちが家ではできないことを学校で体験することによって自信を付けたり、思いやりの気持ちが育っていくのだと改めて感じた。幼稚園からいい状態で小学校へ進学できるように努力していきたいと思う。  最近、YouTube・タブレット・ゲームなどの話をしている子が多くなっており、心配している。職員会議でも話題となり、次のような園だよりを出したところだ。  「 平日の夕方や休日、子どもたちはどのように過ごしていますか。  タブレットやTV、携帯、YouTube に夢中になっていませんか。  小学校の授業中、椅子に座ってられず教室を飛び出してしまう子供が増えているようです。  体幹がしっかりしておらず、姿勢保持の難しさを感じる子や、短時間でも三角座りや椅子に座ることができない子が増えています。  体幹トレーニングは、インナーマッスルに働きかける特別な運動をしないといけないイメージですが、子どもたちには遊びで十分です。「走る」「転がる」「ぶら下がる」「飛び跳ねる」などの動きをすることで、おのずと体幹は鍛えられるそうです。  YouTube 等は視覚的に刺激も強く、楽しいと感じやすいものですが、強い刺激を求めてやめられなくなっていくものです。幼児期に大切な遊びをもう一度見直してみませんか。」  保護者からの反応は、ゼロであった。  園に送ってこられる親子の様子を見てみると、子どもは車から降りても立ったまま何もせず、カバンや水筒はお母さん方が掛けてあげる。身の回りのことを自分でさせるように伝えてもなかなか理解してもらえず、難しさを感じるが多くなっている。現状は深刻である。</p>
<p>福里委員</p>	<p><b>「学校訪問の御礼」</b>  委員の皆様からは毎回、ご意見ご指摘を賜り、本当にありがたい。  いろいろな課題に対する指摘や助言、学校への応援のメッセージをしっかりと各学校に伝えていきたい。</p>
<p>教育長</p>	

「7月14日 肝属地区令和3年度公立高等学校生徒募集定員策定等に係る説明会の報告について」

まず、鹿児島県全体の中学校の卒業生の推移を委員の皆様にお知らせしたい。

平成22年3月に18,462名いた卒業生は、令和3年3月には14,882名まで減少する。それから若干増えて、令和6年3月には15,329名となる。そしてまた減少の時代に入り、令和10年3月には14,866名となり、それから先は14,000名を切っていく状況である。

一方、肝属地区の場合は、令和2年3月が2,040名で、鹿児島県全体では最少となる令和3年3月では、逆に増えて2079名となる。令和6年は2,059名、令和10年3月には2104名まで増える見込みとなっており、肝属地区は2,000から2,100名の間で安定して推移していく。

今後は、この2,000から2,100名の卒業生を、公立高校と私立高校が奪い合うことになっていく。

ちなみに、令和2年は公立高校に進学した子どもたちの割合は56%、私立及びその他が44%である。かつては75:25の時代があった。

公立高校は費用が安く、生徒の地元志向も強かったが、授業料無償化、通学バスによる通学の利便性、オンライン授業の充実と私立の教育環境が非常によくなったことで、公立高校の立場は厳しくなっている。

会では、もっと研究のための予算を獲得し公立高校の魅力を高めてほしい、肝属地区でも学力の2極化がみられるなどの意見が出た。2極化の先にあるのは学力に応じた学校が選択できるということで、競争原理が働かないということだ。目標を持たせて高いところを目指すためには一定の競争原理が必要なのではないかとの意見、競争しながら力をつけていくことが社会で貢献できる人間を作るのではないかという意見などが交わされた。

また、子どもたちの学力について心配な資料があった。

高校入試には「目安点」があり5教科で90点と設定されている。目安点とは小学校で学習したレベルの問題の点数で、その目安点に届かない子どもたちの割合を示したもので、高いほうから大島地区、南薩地区、その次に、大隅地区となっている。ちなみに一番低いのは鹿児島市である。

学力低下の危機感を常に持ちながら、学校教育課長と連携して垂水市の学力向上に努めたい。

教育総務課長  
学校教育課長  
社会教育課長  
国体推進課長

4課長から6月9日から7月16日までの主な行事等の実施状況について報告するとともに、8月7日までの行事予定についてお知らせした。

6 閉 会